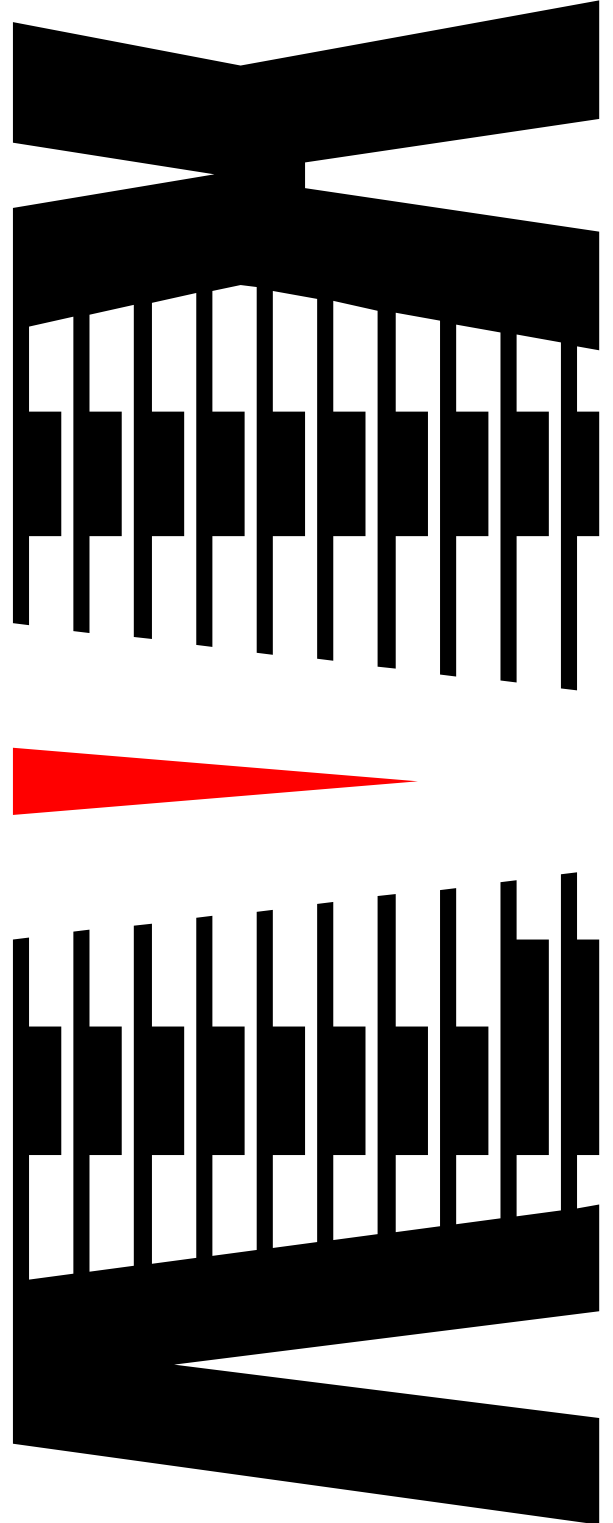


“アルビクス” 簡易APC EAP-400

取扱説明書

Ver.1.2



御使用前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為の指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

	ページ
御使用上の注意事項	1
1. 主な機能と特徴	2
2. 仕様	3
3. 各部の名称と機能	5
4. Webブラウザによる設定	7
4 - 1 ログイン	7
4 - 2 動作モード設定	9
4 - 3 機器設定	10
4 - 4 通知マスク設定	13
4 - 5 スケジュール設定	14
4 - 6 SCTE スケジュール設定	17
4 - 7 手動テイク	20
4 - 8 動画・静止画登録	21
4 - 9 Trap 先 IP アドレス設定	22
4 - 10 時刻調整	23
4 - 11 ネットワーク設定	24
4 - 12 アラーム情報	25

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としたり、してはいけません。（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 発煙、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具に近い所、埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

- ◇本体内の Flash メモリドライブに保存した H.264/AVC ファイルを再生します。
- ◇本体内に増設用の SSD ドライブベイを用意しています。
- ◇スケジュール/ARIB STD-B39/外部接点/SCTE104 splice_request のいずれかのトリガで、LINE 入力と再生素材を切り替えます。
- ◇LTC を入力することにより、スケジュールトリガであってもフレーム精度で切り替えられます。
- ◇外部同期を入力することにより、LINE 入力が失われた場合でも再生素材を出力できます。
- ◇LINE 入力/再生素材に加え、FILL 信号入りに切り替えることができます。
- ◇FILL/KEY を入力して DSK として使用できます。

(注) FS 機能はありませんので、各入力は同期している必要があります。
出力は内部処理による遅延が生じます。

2. 仕様

- ◆LINE 入力信号
 - 入力信号数 : 1 系統／バッファスルー 1 系統
 - 信号形式 : HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz]
 - 入力接栓 : BNC コネクタ

- ◆出力信号
 - 出力信号数 : LINE 2 系統／PREVIEW 1 系統
 - 信号形式 : HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz]
 - 出力接栓 : BNC コネクタ
 - 入出力位相 : 内部処理による入出力遅延を有します。(11Line)
 - その他 : LINE 1 系統は、電源断時にリレーでバイパススルーします。
入力信号がない場合は出力されません。

- ◆LTC
 - 入力信号数 : 1 系統／ループスルー 1 系統
 - 信号形式 : LTC (SMPTE 12M)
 - 入力接栓 : BNC コネクタ

- ◆外部同期 ※オプション 1 EAP-BB/LTC が必要です。
 - 入力信号数 : 1 系統／ループスルー 1 系統
 - 信号形式 : NTSC ブラックバースト／3 値 (1080i [59.94Hz])
 - 入力接栓 : BNC コネクタ

- ◆FILL
 - 入力信号数 : 1 系統／バッファスルー 1 系統
 - 信号形式 : HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz]
 - 入力接栓 : BNC コネクタ

- ◆KEY
 - 入力信号数 : 1 系統／バッファスルー 1 系統
 - 信号形式 : HD-SDI SMPTE292M 1080i [59.94Hz]
 - 入力接栓 : BNC コネクタ

- ◆スケジュール機能
 - 日時指定 : 素材切替を日／時／分／秒で指定できます。
 - 切替時刻 : 本体 RTC の時刻に同期して動作します。
LTC 入力に同期して動作させることも可能です。
 - スケジュール登録 : 本体 WebGUI 上、または指定フォームの CSV ファイルで登録

- ◆ARIB STD-B39
 - トリガ指定 : トリガは、ARIB STD-B39 のワード番号、ビット番号を任意に設定します。
素材切替を下記のいずれかで制御します。
 - ①ステートモード : Start、End を1つのトリガで指定します。
トリガが0から1に遷移したエッジ = Start
トリガが1から0に遷移したエッジ = End
 - ②エッジモード : Start、End を個別トリガで指定します。
トリガが0から1に遷移したエッジを各々のトリガタイミングとします。
 - ③デュレーションモード : Start を各々のトリガで指定します。
トリガは 12 個選択可能で、それぞれの Duration を個別に設定できます。
※トリガの重複は禁止です。

- ◆無電圧接点出力
接点入力 : 素材切替を下記のいずれかで制御します。
 - ①ステートモード : Start、End を1 接点で指定します。
クローズエッジ = Start、オープンエッジ = End
 - ②エッジモード : Start、End を個別接点で指定します。
クローズエッジを各々のトリガタイミングとします。
 - ③デュレーションモード : Start を TAKE 接点と Duration 接点
で指定します。
Duration 接点で Duration を選択します。
TAKE 接点のクローズエッジ = Start
※Duration 接点の重複クローズは禁止です。

- 入力回路 : 内部電源 +5V に 5.1kΩ でプルアップ (フォトカプラ受け)
接点出力 : 動作状態を出力します。(切替/Splice 中 = クローズ)
出力回路 : 接点容量 10mA

- ◆SCTE104 制御
対応 opID : splice_request_data()
spliceStart_normal または spliceStart_immediate
spliceEnd_normal または spliceEnd_immediate
End 命令に対しては、実行までの遅延を設定できます。

- ◆ビデオファイル
 - 動画ファイル形式 : MP 4
 - 圧縮符号化方式 : H.264/AVC
 - ビットレート : 10M bit/sec
 - フレームレート : 30 f p s
 - プロファイル/レベル : Baseline Profile Level 4.1
Main Profile Level 4.1
High Profile Level 4.1
 - 画像サイズ : 1920 × 1080
 - 音声符号化方式 : AAC
 - 音声 : 2 チャンネル (ステレオ)
 - ファイル登録 : WebGUI 操作で転送、Flash メモリドライブの共有フォルダ、または増設 SSD ドライブにコピー/ペースト

※1920 × 1080 サイズの静止画 (jpg) にも対応します。

- ◆ビデオファイル登録容量
 - Flash メモリドライブ : 30GB (10Mbps のファイルで約6時間)
 - 増設 SSD ドライブ : フロントパネル内の SSD ドライブベイに増設可能

- ◆外部通信
 - 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インターフェース
 - プロトコル : HTTP (本体設定)
SNMP (状態遷移外部通知)
 - コネクタ : RJ-45 モジュラ

- ◆電源
 - 電源電圧 : 100V AC ±5%
 - 消費電力 : 30W 50VA
 - 重量 : 電源二重化リダンダント

- ◆使用温度範囲 : 5℃ ~ +40℃ (結露なきこと)

- ◆外形寸法 : H44mm × W430mm × D385mm (1U サイズ)

3. 各部の名称と機能

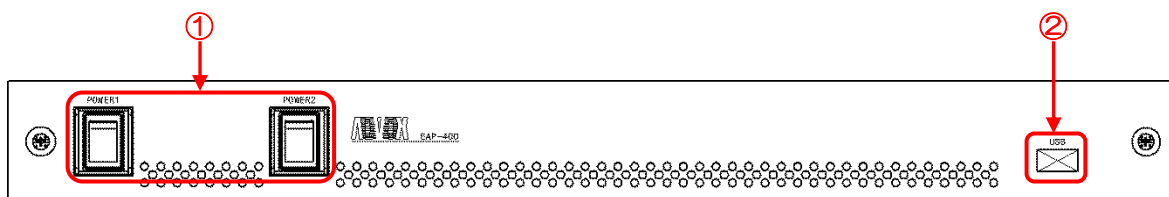


図 3.1 フロント外観図

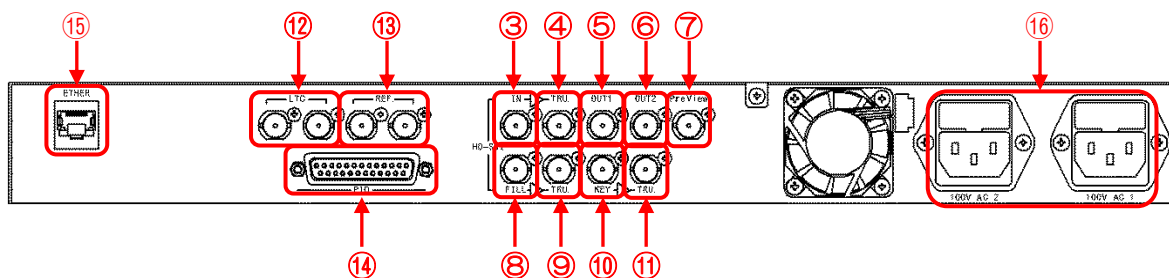


図 3.2 リア外観図

①電源スイッチ

本機器の電源 ON/OFF を行います。

通常は、POWER1/POWER2 のスイッチを両方とも ON にして使用して下さい。

②USB

メンテナンス用の USB コネクタです。通常は使用しません。

③LINE 入力

素材切替元となる信号を入力します。

④LINE スルー出力

LINE 入力信号がバッファを介して出力されます。

再生素材とは切替りません。

本機器電源 OFF 時には信号は出力されません。

⑤OUT1

LINE 入力と再生素材を切り替えて出力されます。

本機器電源 OFF 時にはリレースルーされた LINE 入力信号が出力されます。

⑥OUT2

LINE 入力と再生素材を切り替えて出力されます。

本機器電源 OFF 時には信号を出力しません。

⑦PreView

ビデオファイル、または静止画のプレビューが出力されます。

本機器電源 OFF 時には信号を出力しません。

⑧FILL 入力

FILL 信号を入力します。

⑨FILL スルー出力

FILL 信号がバッファを介して出力されます。
本機器電源 OFF 時には信号を出力しません。

⑩KEY 入力

KEY 信号を入力します。

⑪KEY スルー出力

KEY 信号がバッファを介して出力されます。
本機器電源 OFF 時には信号を出力しません。

⑫LTC 入力 & ループスルー出力

LTC 信号の入力と、ループスルー出力です。

⑬外部同期入力 & ループスルー出力

外部同期信号の入力と、ループスルー出力です。

⑭PIO

素材切替の接点制御、ならびに動作状態の出力を行います。
ピンアサインは以下のとおりです。

	ステートモード	エッジモード	デュレーションモード
1	Start/End	Start	Take
2	—	End	Duration 設定 1
3	—	—	Duration 設定 2
4	—	—	Duration 設定 3
5	—	—	Duration 設定 4
6	—	—	Duration 設定 5
7	—	—	Duration 設定 6
8	—	—	Duration 設定 7
9	—	—	Duration 設定 8
10	—	—	Duration 設定 9
11	—	—	Duration 設定 10
12	—	—	Duration 設定 11
13	—	—	Duration 設定 12
14	切替状態接点出力		
15			
16	接点出力 reserve1		
17			
18	接点出力 reserve2		
19			
20	接点出力 reserve3		
21			
22	COM		
23	COM		
24	FG		
25	FG		

表 3 D-sub 25pin ピンアサイン

⑮LAN

通信制御用の LAN インターフェースコネクタです。

⑯AC 入力

本機器の電源入力（3P インレット）です。
電源コードは左右とも接続してください。

4. Webブラウザによる設定

◇本装置はWebブラウザを使用し、インサート設定、時刻設定、ネットワーク設定等を行うことができます。

4-1 ログイン

◇装置の設定画面を開きます。

(1) ブラウザを起動し、アクセスしたい機器のIPアドレスを入力します。

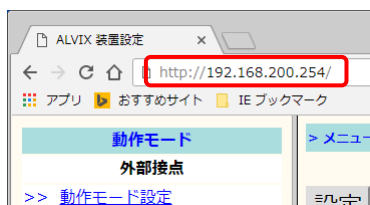


図 4.1.1 URL 入力

(2) メイン画面が表示されます。

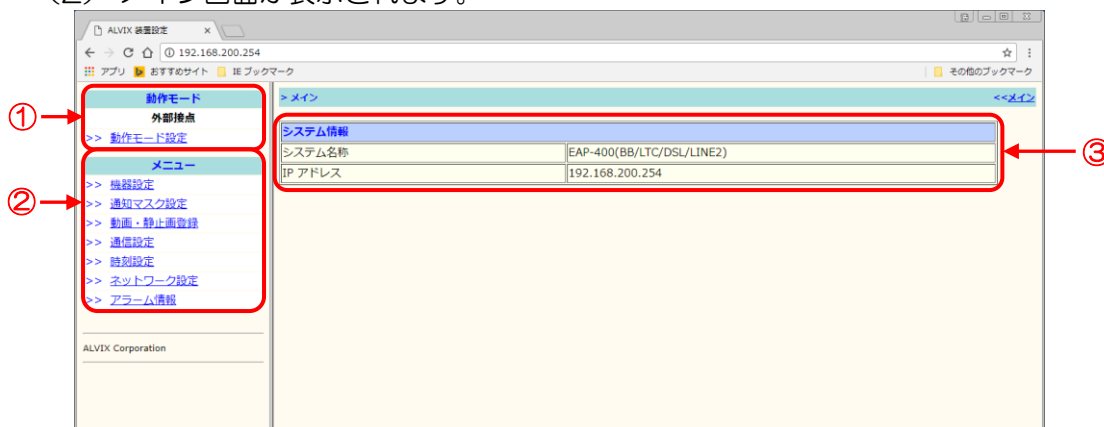


図 4.1.2 メイン画面

① 動作モード

◆動作モード設定 . . . 動作トリガの設定を行います。

② メニュー ※動作モードによって、表示されるメニューが変わります。

◆機器設定

切替動作の各種設定を行います。

◆通知マスク設定

Trap 通知のマスク設定を行います。

◆スケジュール設定

内部時刻/LTC に基づくスケジュールの確認/登録/削除を行います。

◆SCTE スケジュール設定

LINE/FILL 切替のスケジュールの確認/登録/削除を行います。

◆手動テイク

手動テイクを行います。

◆動画・静止画登録

動画・静止画ファイルの登録を行います。

◆通信設定

Trap 通知先 IP アドレスの設定を行います。

◆時刻設定

機器の時刻設定を行います。

- ◆ネットワーク設定
機器の IP アドレスの設定を行います。
- ◆アラーム情報
アラーム情報やバージョンを確認できます。

③ システム情報

- ◆機器のシステム名称、IP アドレスを表示します。

4-2 動作モード設定

◇動作トリガの設定を行うことができます。

(1) 動作モードより「動作モード設定」をクリックしてください。

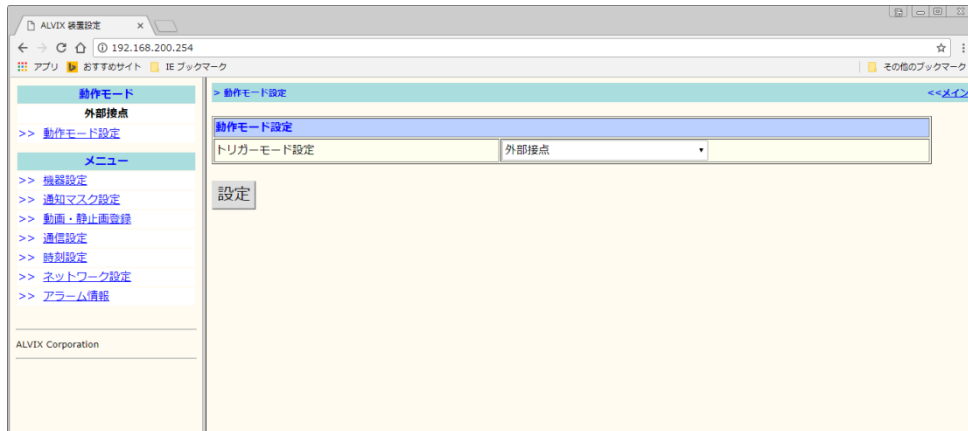


図 4.2 動作モード設定

(2) トリガモードを切り替えます。

- 外部接点
- NetQ
- スケジュール（内部時刻）
- スケジュール（LTC）
- 手動テイク
- SCTE104信号
- SCTE104信号（スケジュール）

(3) 設定の変更が終わったら、「設定」ボタンをクリックしてください。確認用のダイアログが表示されます。



図 4.2.2 確認メッセージトリガモード設定

4-3 機器設定

◇切替動作の各種設定を行うことができます。

(4) メニューより「機器設定」をクリックしてください。

The screenshot shows the ALVIX configuration web interface. The left sidebar contains a menu with options like '動作モード', '外部接点', and 'メニュー'. The main content area is titled '設定' and contains several configuration sections:

- Splice動作設定**: Includes a dropdown for '画音切替' (Audio/Video Switch) set to '動画' (Video).
- モード設定**: Includes radio buttons for 'トリガ種別選択' (State/Close Edge), 'インサート種別' (Immediate/Normal), and 'Durationモード' (OFF/ON).
- 機器設定**: A table for configuring device parameters like 'プリロールタイム' (Start/End), '開始信号のNetQ位置' (Word/Bits), and '終了信号のNetQ位置' (Word/Bits).
- Duration設定**: A table for configuring duration settings (Duration設定 1-12) with columns for '無効/有効', 'Break Duration 設定', and 'トリガ信号のNetQ位置'.
- SCTE104 遅延量設定**: Includes a field for 'End Delay設定' (0-5000 ミリ秒).
- FILL/KEY設定**: Includes fields for 'ゲイン設定', 'スライスレベル設定', and '切替フェード時間設定'.

図 4.3 機器設定

(5) 切替動作の各種設定を行います。

[1] Splice 動作設定

① 画音切替

◆切り替える素材を、無効/静止画/動画/FILL 入力/FILL/KEY 入力から選択できます。

[2] モード設定

① トリガ種別選択

◆動作モードが「外部接点」「NetQ」の場合に、トリガの種別を「ステート」「クローズエッジ」から選択できます。

- ② インサート種別
 - ◆インサート種別を「Immediate」「Normal」から選択できます。
- ③ Duration モード
 - ◆Duration の OFF/ON を設定できます。

[3] 機器設定

- ① プリロールタイム (Start/End)
 - ◆インサート種別で「Normal」を選択している時のプリロールタイムを設定できます。プリロールタイム (End) は、Duration モードが「OFF」の時のみ指定できます。
 - ◆開始時 (Start) と終了時 (End) で個別に設定できます。
 - ◆設定範囲は0.500~10.000 (秒) です。
 - ◆Start ≤ End となるように設定してください。
- ② 開始信号の NetQ 位置 (ワード番号/ビット番号)
 - ◆Duration モードが「OFF」、トリガソース選択が「NetQ」を選択している場合に開始トリガ信号の位置を設定できます。
 - ◆設定範囲は、ワード番号：1~248、ビット番号：0~7です。
 - ◆終了信号の NetQ 位置と全く同じワード番号/ビット番号は設定できません。
- ③ 終了信号の NetQ 位置 (ワード番号/ビット番号)
 - ◆Duration モードが「OFF」、トリガソース選択が「NetQ」、トリガ種別選択が「クローズエッジ」を選択している場合に終了トリガ信号の位置を設定できます。
 - ◆設定範囲は、ワード番号：1~248、ビット番号：0~7です。
 - ◆開始信号の NetQ 位置と全く同じワード番号/ビット番号は設定できません。

[4] Duration 設定

- ① Duration 設定 無効/有効
 - ◆個別に Duration 設定の無効/有効を設定できます。
- ② Break Duration 設定
 - ◆Duration モードが「ON」で、Duration 設定が「有効」の場合に Duration 時間を設定できます。
 - ◆設定範囲は1.0~6553.5 (秒) です。
- ③ トリガ信号の NetQ 位置 (ワード番号/ビット番号)
 - ◆Duration モードが「ON」、Duration 設定が「有効」、トリガソース選択で「NetQ」を設定している場合にトリガ信号の NetQ 位置を設定できます。
 - ◆設定範囲は、ワード番号：1~248、ビット番号：0~7です。
 - ◆他の Duration 設定のトリガ信号の NetQ 位置と全く同じワード番号/ビット番号は設定できません。

[5] SCTE104 遅延量設定

- ① End Delay 設定
 - ◆動作モードが「SCTE104 信号」「SCTE104 信号(スケジュール)」の場合に設定できます。
 - ◆spliceEnd 命令を検知した時の切替時間を遅延させることができます。
 - ◆設定範囲は0~5000 (ミリ秒) です。

[6] FILL/KEY 設定

- ① ゲイン設定
 - ◆画音切替が「FILL 入力」「FILL/KEY 入力」の場合に設定できます。

- ◆合成時のゲインを設定できます。
- ◆設定範囲は1～128です。

② スライスレベル設定

- ◆画音切替が「FILL 入力」「FILL/KEY 入力」の場合に設定できます。
- ◆合成時のスライスレベルを設定できます。
- ◆設定範囲は1～128です。

③ 切替フェード時間設定

- ◆画音切替が「FILL 入力」「FILL/KEY 入力」の場合に設定できます。
- ◆素材切替時のフェード時間を設定できます。
- ◆設定範囲は0～128（フレーム）です。

(6) 設定の変更が終わったら、 ボタンをクリックしてください。

4-4 通知マスク設定

◇装置の状態を Trap 通知する／しないを設定することができます。

(1) メニューより「通知マスク設定」をクリックしてください。



図 4.4 通知マスク設定

(2) Trap 通知する／しないの設定を行います。

(3) 設定の変更が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。

4-5 スケジュール設定

◇スケジュール（内部時刻/LTC）の確認/登録/削除を行います。

- (1) メニューより「スケジュール設定」をクリックしてください。
ページ読み込み時に現在登録されているスケジュールが表示されます。

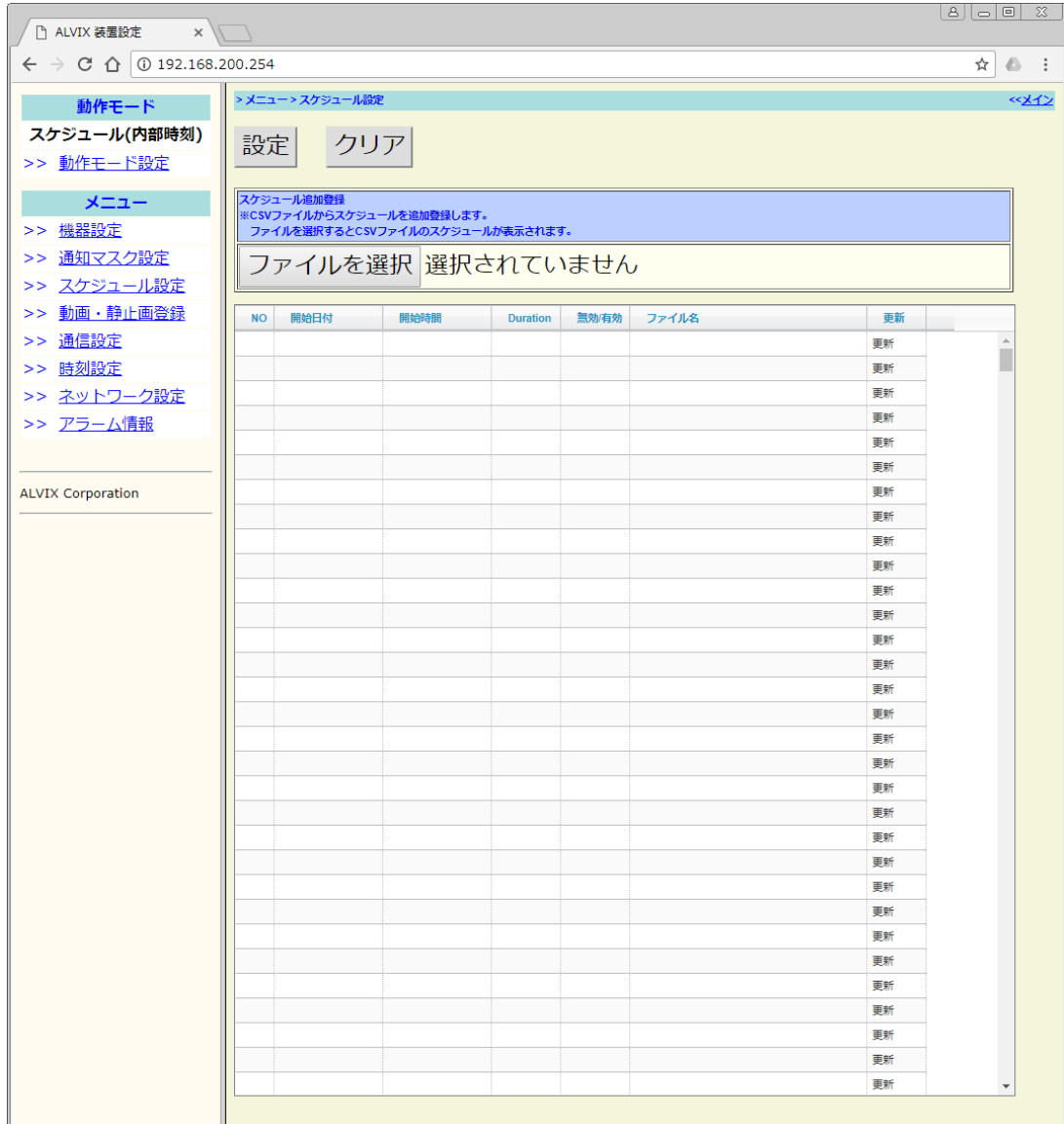


図 4.5.1 スケジュール設定

- (2) スケジュールを登録します。スケジュールは 1000 件まで登録できます。

[1] CSV を選択して登録する場合

ファイルを選択 ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログで、登録したいファイルを選択してください。現在のスケジュールに追加されます。

[2] WebGUI 上で編集する場合

セルを選択すると、直接修正することができます。

セルの修正後は **更新** のセルをクリックしてください。

また、セルを右クリックすると、行の追加/削除ができます。
スケジュールを削除する場合は、WebGUI から削除できます。

- (3) 登録の編集が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。

◇ブラウザに表示しているスケジュールのクリアを行います。

- (1) 登録の編集が終わったら、**クリア** ボタンをクリックしてください。
- (2) スケジュールクリア確認用のダイアログが表示されます。
OK：ブラウザ表示中のスケジュールクリアがクリアされます。
キャンセル：何もせずにダイアログを閉じます。

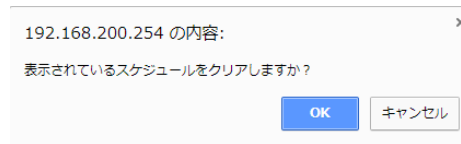


図 4.5.2 確認メッセージ 表示スケジュールクリア

- (3) スケジュールを本体に反映させるか確認用のダイアログが表示されます。
OK：クリアしたスケジュールを本体に反映させます。
キャンセル：本体に反映させずに、ダイアログを閉じます。
(ブラウザの再読み込みを行うと、スケジュールが再表示されます。)

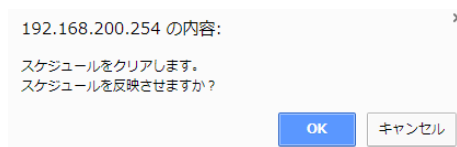


図 4.5.3 確認メッセージ スケジュール本体反映

【スケジュール（内部時計/LTC）のCSVファイルフォーマットについて】

◇スケジュール登録を行うためのCSVファイルのフォーマットについて説明します。
 CSVファイル（schedule_all.csv）のフォーマットはカンマ区切りで
 下記のようになっています。

no	date	time	duration	event_active_flag	filename
1	2017/08/18	10:10:00	60	1	default.jpg
2	2017/08/18	10:15:00	60	1	
～					

表 4.5.1 スケジュール登録のCSVファイルフォーマット

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
no	Index 番号	設定数 1～1000
date	開始日付	日付のフォーマット YYYY/MM/DD
time	開始時間	時刻のフォーマット hh:mm:ss
duration	表示期間（秒）	15秒～86400秒
event_active_flag	イベント有効フラグ	0:イベント無効 1:イベント有効
filename	動画・静止画のファイル名	ファイル名の指定が ない場合は、defaultの ファイルが再生されます。

表 4.5.2 CSVファイル項目について

◇スケジュール登録制約

- ・スケジュールイベントの連続再生はできません。
- ・スケジュールイベント間の終了時間と開始時間は5秒以上間隔をあける必要があります。

◇FTPからのスケジュールCSV登録

FTPツールよりアクセスしたい機器に接続します。

ユーザー名：alvix

パスワード：alvix

「/home/alvix/schedule」にアクセスし、スケジュールファイルを上書きします。

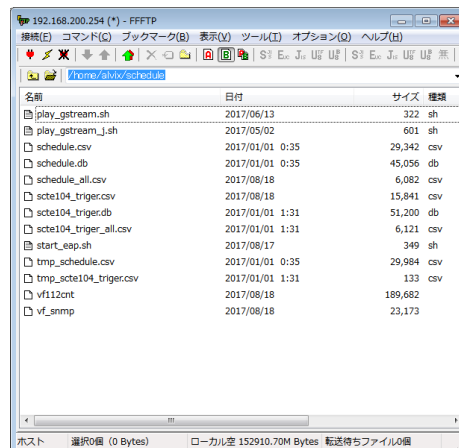


図 4.5.4 FTPからのスケジュールファイル登録

4-6 SCTE スケジュール設定

◇LINE/FILL 切替スケジュールの確認/登録/削除を行います。

- (1) メニューより「SCTE スケジュール設定」をクリックしてください。
ページ読み込み時に現在登録されているスケジュールが表示されます。

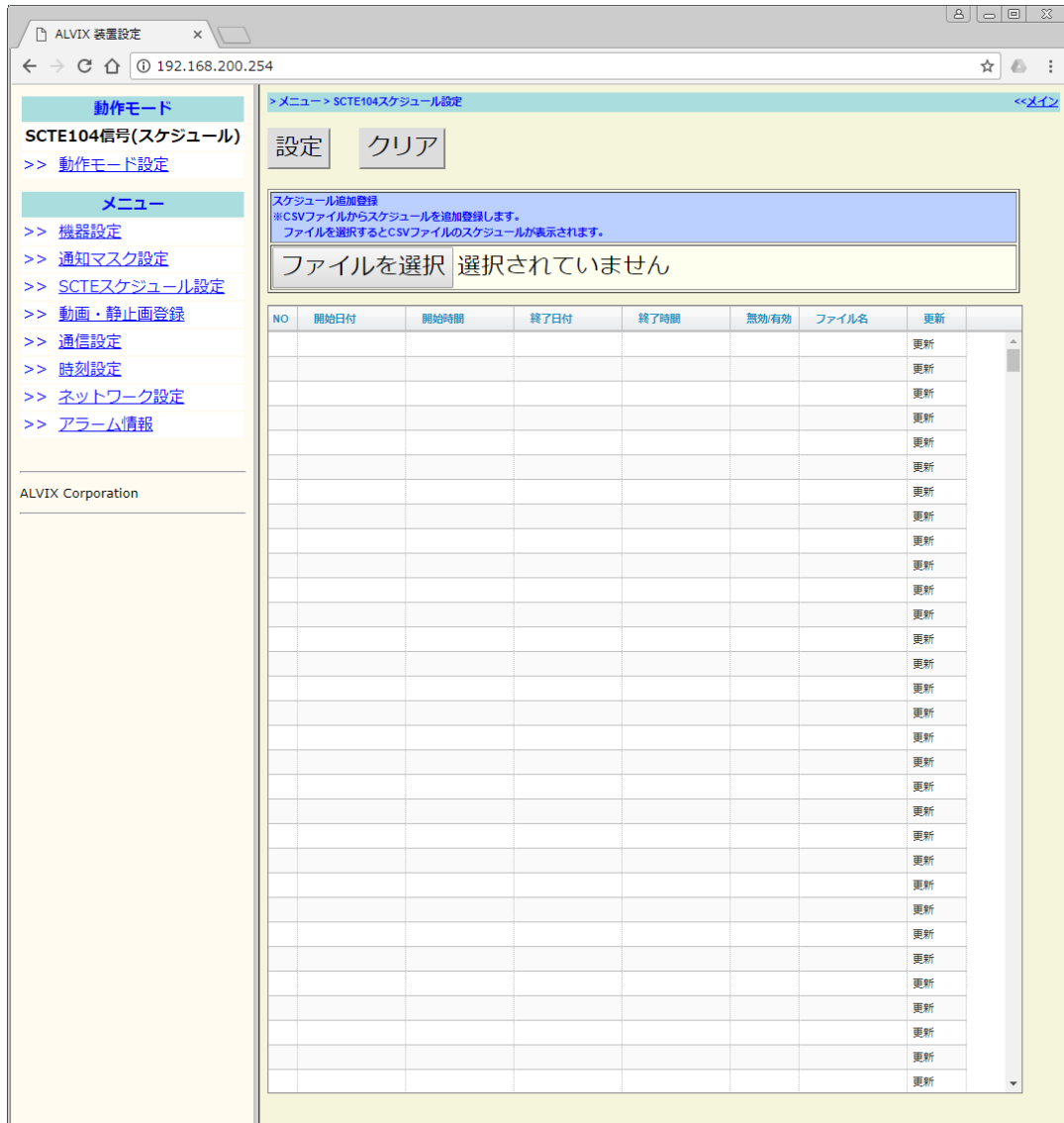


図 4.6.1 スケジュール設定

- (2) スケジュールを登録します。スケジュールは 1000 件まで登録できます。

[1] CSV を選択して登録する場合

ファイルを選択 ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログボックスで、登録したいファイルを選択してください。表示中のスケジュールに追加されます。

[2] WebGUI 上で編集する場合

セルを選択すると、直接修正することができます。

セルの修正後は **更新** のセルをクリックしてください。

また、セルを右クリックすると、行の追加/削除ができます。
スケジュールを削除する場合は、WebGUI から削除できます。

- (4) 登録の編集が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。

◇ブラウザに表示しているスケジュールのクリアを行います。

- (1) 登録の編集が終わったら、**クリア** ボタンをクリックしてください。
- (2) スケジュールクリア確認用のダイアログが表示されます。
OK：ブラウザ表示中のスケジュールクリアがクリアされます。
キャンセル：何もせずにダイアログを閉じます。

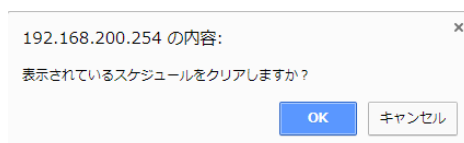


図 4.6.2 確認メッセージ 表示スケジュールクリア

- (3) スケジュールを本体に反映させるか確認用のダイアログが表示されます。
OK：クリアしたスケジュールを本体に反映させます。
キャンセル：本体に反映させずに、ダイアログを閉じます。
(ブラウザの再読み込みを行うと、スケジュールが再表示されます。)

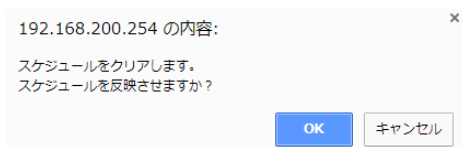


図 4.6.3 確認メッセージ スケジュール本体反映

【SCTE スケジュールの CSV ファーマットについて】

◇スケジュール登録を行うための CSV ファイルのフォーマットについて説明します。
 CSV ファイル (scte104_trigger_all.csv) のフォーマットはカンマ区切りで
 下記のようになっています。

no	sdate	stime	edate	etime	event_active_flag	filename
1	2017/08/18	10:10:00	2017/08/18	10:20:00	1	default.jpg
2	2017/08/18	11:20:00	2017/08/18	11:30:00	1	
～						

表 4.6.1 スケジュール登録の CSV ファイルフォーマット

CSV ファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
no	Index 番号	設定数 1～1000
sdate	開始日付	日付のフォーマット YYYY/MM/DD
stime	開始時間	時刻のフォーマット hh:mm:ss
edate	終了日付	日付のフォーマット YYYY/MM/DD
etime	終了時間	時刻のフォーマット hh:mm:ss
event_active_flag	イベント有効フラグ	0:イベント無効 1:イベント有効
filename	動画・静止画のファイル名	ファイル名の指定が ない場合は、default の ファイルが再生されます。

表 4.6.2 CSV ファイル項目について

◇スケジュール登録制約

- スケジュールイベントの連続再生はできません。
- スケジュールイベント間の終了時間と開始時間は5秒以上間隔をあける必要があります。

◇FTPからのスケジュールCSV登録

FTP ツールよりアクセスしたい機器に接続します。

ユーザー名 : alvix

パスワード : alvix

「/home/alvix/schedule」にアクセスし、スケジュールファイルを上書きします。

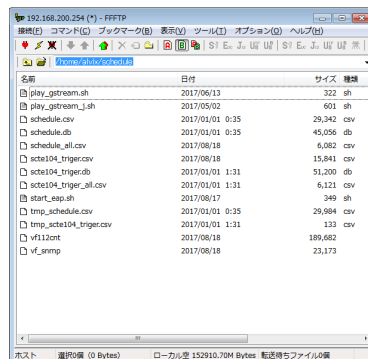


図 4.6.4 FTPからのスケジュールファイル登録

4-7 手動テイク

◇WebGUI上で手動テイクを行います。

(1) メニューより「手動テイク」をクリックしてください。

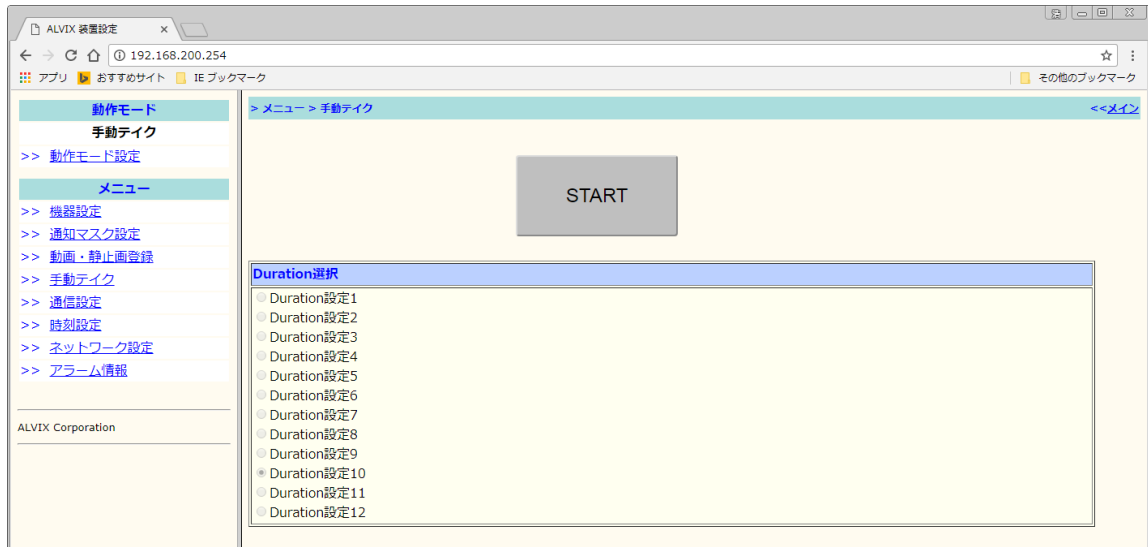





図 4.7 手動テイク

(2)  ボタンをクリックすると、機器設定で行った設定に従い、切替動作を行います。切替動作の設定は、「機器設定」で行います。また、Duration モードが ON の場合は、Duration 選択から設定を選択してから  ボタンをクリックしてください。

(3) Duration モードが OFF の場合は、 ボタンをクリックすると切替動作を終了します。

4-8 動画・静止画登録

◇動画・静止画ファイルの登録を行います。

(1) メニューより「手動テイク」をクリックしてください。

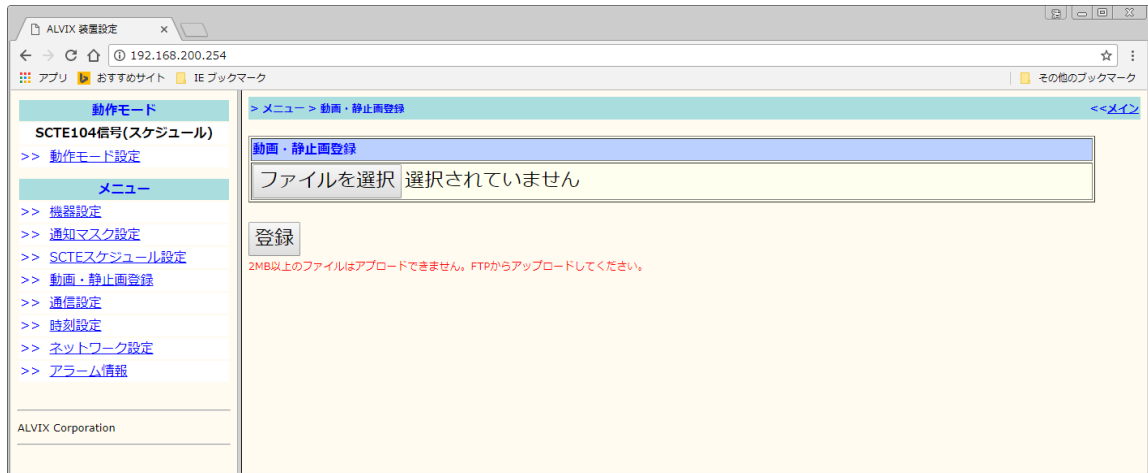


図 4.8.1 動画・静止画登録

(2) **ファイルを選択** ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログで、登録したい動画ファイル、または静止画ファイルを選択してください。
但し、2MB以上のファイルはアップロードできません。FTPからアップロードしてください。

(3) ファイルの選択が終わったら、**登録** ボタンをクリックしてください。

◇FTPからの動画・静止画登録

FTPツールよりアクセスしたい機器に接続します。

ユーザー名：alvix

パスワード：alvix

「/home/alvix/media」にアクセスし、動画・静止画ファイルを上書きします。

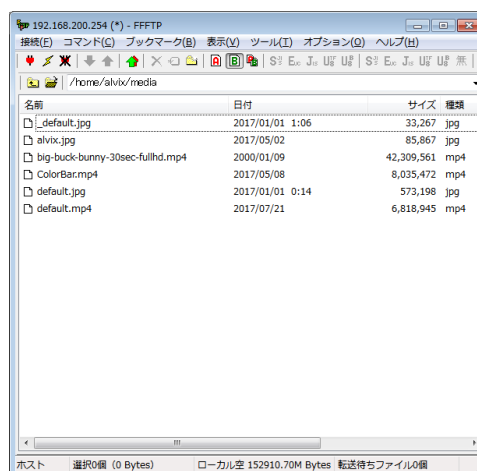


図 4.8.2 FTPからの動画・静止画登録

4 - 9 Trap 先 IP アドレス設定

◇Trap 通知先を設定することができます。

(1) メニューより「通信設定」をクリックしてください。



図 4.9.1 通信設定

(2) コミュニティ名、Trap 送信先 IP アドレスを設定します。

Trap 先 IP アドレスは最大5箇所まで指定可能です。

Trap 先 IP アドレスは、ネットワーク上に存在しないアドレスは設定しないでください。機器の通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。

(3) 設定の変更が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。

4-10 時刻調整

◇機器の時刻を設定できます。

(1) メニューより「時刻設定」をクリックしてください。



図 4.10.1 時刻設定

(1) 時刻の設定方法を選択してください。

① PC 時刻を HTTP 通信で設定

・・・ 接続しているパソコンの時刻を設定します。

をクリックすると、時刻を設定します。

② 手動時刻設定

・・・ 入力された時刻を設定します。

任意の時刻を入力後、 をクリックしてください。

(2) NTPサーバ設定を行うことで、NTPサーバとの時刻同期を行うことができます。

① NTP サーバ名

◆NTP サーバの IP アドレスを入力してください。

◆「0.0.0.0」を設定した場合、時刻同期は無効となります。

② 更新間隔

◆NTP サーバへアクセスする間隔を指定します。

◆設定範囲は0～9999（分）です。

◆0（分）を設定した場合、時刻同期は無効となります。

③ 設定の変更が終わったら、 ボタンをクリックしてください。確認メッセージが表示され、設定が有効になります。

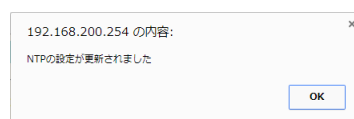


図 4.10.2 確認メッセージ (NTP 設定)

4-1-1 ネットワーク設定

◇機器のIPアドレス、ゲートウェイ等の変更ができます。

(1) メニューより「ネットワーク設定」をクリックしてください。

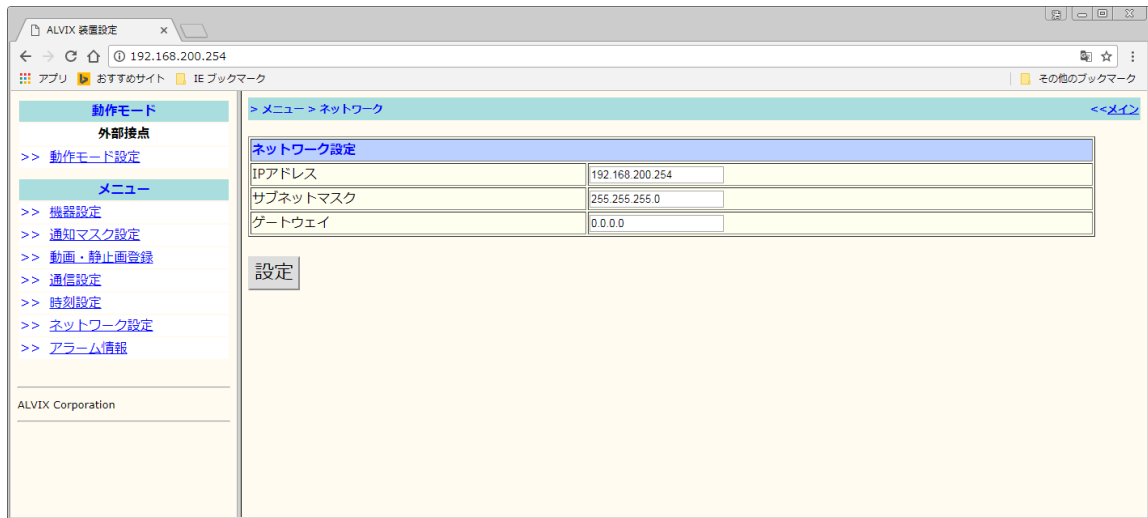


図 4.11.1 ネットワーク設定

(2) 変更したいIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。

(3) 設定の変更が終わったら、**設定** ボタンをクリックしてください。

(4) ブラウザに新しいIPアドレスを入力し、再ログインしてください。

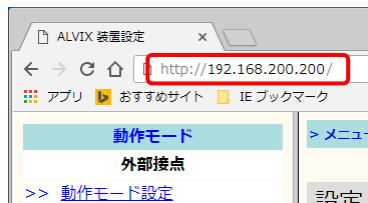


図 4.11.2 URL 入力

4-12 アラーム情報

◇機器のアラーム情報やバージョンを確認できます。

- (1) メニューより「アラーム情報」をクリックしてください。
現在のアラーム状態を取得できます。

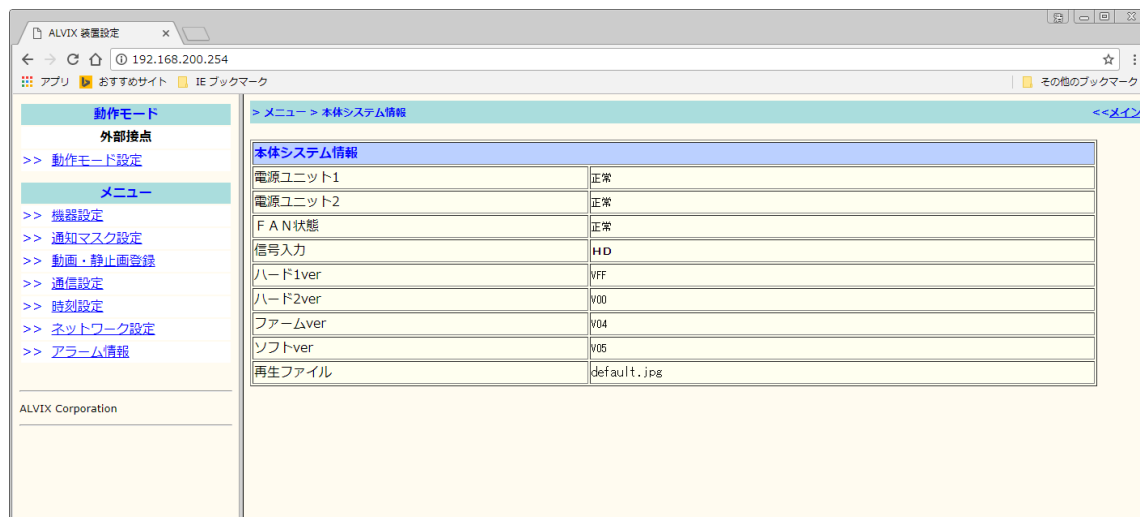


図 4.1 2.1 アラーム情報

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担 当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038